

# 第4期 定時株主総会

UACJ

# 報告事項

# 第4期 事業報告

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月31日まで

# **1. 企業集団の現況に関する事項**

## **(1) 事業の経過及びその成果**

# (1) 事業の経過及びその成果

## 世界の経済情勢

- 米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続
- 減速気味であった中国においても景気が緩やかに回復
- 新興国においては各国ばらつきがあるが、全体としては回復基調

# (1) 事業の経過及びその成果

## 日本の経済情勢

- 企業部門並びに家計部門も、緩やかな回復基調
- 米国新政権が保護主義的政策を鮮明にしている
- 地政学的リスクの高まり

景気の先行きは不透明な状況が継続

## 当社グループの連結業績

科目	金額
売上高	5,683億1千6百万円
営業利益	258億6千9百万円
経常利益	198億1千9百万円

# 当社グループの連結業績

科目	金額
親会社株主に帰属する 当期純利益	87億1千5百万円



## 当社単独の業績

科目	金額
売上高	2,589億1千8百万円
営業利益	131億6千1百万円
経常利益	155億9千2百万円

# 当社単独の業績

科目	金額
当期純利益	108億6千4百万円
特別損失	13億3千7百万円
うち、子会社の解散・清算に伴う貸倒損失	5億3千3百万円

## 期末配当

**1株につき3円**

**(中間配当3円と合わせて年間配当6円)**

# 企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

伸銅品事業

加工品・関連事業

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

### 板類

飲料缶用



前期並み

自動車分野



需要伸長

半導体及び液晶製造装置



大幅増

内需全体で前期を上回る  
内需と輸出の合計出荷量でも3年連続で対前期増加

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

### 押出類

トラック・バス関連需要



好調継続

建築関連需要



復調



出荷総量は3年ぶりに前期を超える

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

当社グループの売上数量



全体需要と同様



板 押出とともに前期を超える

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業(海外)

- タイ王国のUACJ (Thailand) Co., Ltd. の板圧延工場の一貫生産本格化
- 米国ローガン工場から自動車パネル用アルミニウム材事業合併会社(Constellium-UACJ ABS LLC)向けに母材の供給を開始

グループ全体での売上数量が大幅に増加



# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

■ 対前期での地金価格下落の影響や為替換算の影響

売 上 高

4,512億5千3百万円

# 企業集団のセグメント情報

## アルミ圧延品事業

- 販売量の増加やコストダウンの効果
- 地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化影響が縮小

売 上 高

4,512億5千3百万円

営 業 利 益

267億6千3百万円

# 企業集団のセグメント情報

## 伸銅品事業

- 家庭用エアコン及び業務用パッケージエアコンの国内生産は堅調に推移
- 国内出荷台数もともに前期を上回る
- 銅地金価格は期末にかけて上昇
- 対前期比での地金価格下落の影響

売 上 高

431億7千4百万円

# 企業集団のセグメント情報

## 伸銅品事業

- 棚卸評価関係による悪化影響が前期より縮小
- コストダウン等

売上高

431億7千4百万円

営業利益

7億 3百万円

# 企業集団のセグメント情報

## 加工品・関連事業

- SRS Industries, LLCの買収
- 既存事業の需要減少が受注に影響

売上高

1,667億4千5百万円

営業利益

37億4千2百万円

## **(2) 設備投資及び資金調達の状況**

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 設備投資

#### タイ王国

#### UACJ (Thailand) Co., Ltd.

第二期までの設備投資計画を平成27年8月までに完成し、平成28年10月に月産1万トンを達成

#### 米国

#### Tri-Arrows Aluminum Inc.によるローガン工場への投資

平成27年度に着手し、継続中

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 設備投資

国内

必要な劣化更新投資等

### 設備投資総額

当社グループ全体 総額316億円(工事ベース)



## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 設備投資計画

#### タイ王国

- UACJ (Thailand) Co., Ltd.の生産能力の向上
- コスト低減による収益力の更なる改善



**第三期分の追加投資を決定(平成28年11月)**

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

米国

### 設備投資計画

- アルミニウム板圧延能力を増強して北米での需要拡大への対応

Tri-Arrows Aluminum Inc.によるローガン工場鑄造ライン及び冷間圧延機の追加投資を決定(平成28年11月)

- 米国のUACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.では、北米での自動車向けアルミニウム構造材・部品への急速な需要拡大に対応

最新鋭押出機を導入

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 資金調達

- 中長期的な成長のための設備投資資金を確保
- 環境変化に対応しうる強固な財務基盤の確立



平成29年3月 公募増資・劣後特約付ローンによる  
資金調達を実施

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 資金調達

公募 増資	146 億円	➔		資本金	資本準備金
			公募増資前	450億円	407億円
			新株の発行	73億円	73億円
			公募増資後	523億円	480億円

### 【参考】

	発行済株式総数
公募増資前	4億2千8百万株
新株の発行	5千5百万株
公募増資後	4億8千3百万株

劣後特約付ローン

400億円

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

### 資金調達

- 当社はUACJ (Thailand) Co., Ltd.の206億円増資引受け払込金として調達したコマーシャル・ペーパー200億円の償還資金に充当
- UACJ (Thailand) Co., Ltd.は当社からの調達資金を第三期分の追加投資に充当予定
- 劣後特約付ローンの資金使途は、主として設備投資

## **(3) 対処すべき課題**

## (3) 対処すべき課題

### 日本の経済情勢

- 金融緩和政策の継続
- 輸出の持ち直し
- 底堅い消費・設備投資に支えられた内需の回復が緩やかに継続
- OPECの減産合意に伴う原油価格の上昇
- 米国新政権によるドル安誘導懸念などエネルギー価格の上昇リスク

今後の見通しは不透明

### **(3) 対処すべき課題**

#### **日本の経済情勢**

- **少子高齢化の進行**
- **顧客の生産拠点の海外移転等**

**需要構造は変化  
中長期的に国内の事業環境は  
厳しいものと想定**



## **(3) 対処すべき課題**

### **世界の経済情勢**

- **中東情勢、朝鮮半島情勢など地政学的リスクが強まる**
- **米国新政権による保護貿易主義、移民政策、通貨戦略などの政策の行方**
- **欧州諸国のEU離脱懸念**
- **中国経済の下振れリスク**

**一層不透明感が増すものと想定**

## (3) 対処すべき課題

「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現へ

平成26年12月10日

### UACJグループ中期経営計画 「Global Step I」

平成29年度(最終年度)

- 中期経営計画に掲げた内容を具体的に各事業へ展開
- 環境変化に強い収益基盤の確立と持続的な成長に取り組む

## (3) 対処すべき課題

### 重点方針

1

- 自動車を中心とした輸送分野、エネルギー分野などの成長製品の拡大
- アジアを中心とした成長地域の事業強化

2

各事業の最適生産体制の構築及び技術融合の推進

3

先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による  
新技術・新製品の開発

### (3) 対処すべき課題

- これらの取り組みを強かに推進し  
財務体質の改善と成長投資の両立
- 目指すべき企業の姿に向けて当社  
グループの総力を結集

**統合効果を早期かつ最大限に発揮**

### (3) 対処すべき課題

- 国内外の事業をより強固なものへ
- 世界のアルミニウムメジャー会社や新興圧延会社との競争に打ち勝つ
- 拡大していくマーケットの中で継続的な成長の実現を目指す

**企業価値の更なる向上を図る**

### **(3) 対処すべき課題**

**平成30年度から始まる次期中期経営計画  
を策定中**

**平成30年3月末に公表を予定**

### (3) 対処すべき課題

**CSRへの取り組みにより  
ステークホルダーの皆様から  
信頼される企業グループであり続けたい**

- **社会に役立つ安全な製品や技術、サービスを継続的に創出・提供し、お客様や取引先の信頼を獲得**
- **健全な企業活動を通じて、株主の皆様、従業員や地域社会などに貢献**

### (3) 対処すべき課題

## グローバルカンパニーとしての社会的責任

- 経営理念、行動規範の実践を通じた企業倫理の確立
- コンプライアンス及びリスク管理の徹底等

コーポレート・ガバナンスを実践



### (3) 対処すべき課題

## グローバルカンパニーとしての社会的責任

- 地球環境の保全
- 資源再生利用の推進等



**サステナビリティに取り組む**

**今後とも、良き企業市民として、  
持続可能な社会の構築に  
取り組んでまいります。  
株主の皆様におかれましては、  
今後ともなお一層の  
ご指導、ご鞭撻を賜わりますよう、  
よろしくお願い申し上げます。**

# 1.企業集団の現況に関する事項

- (4) 財産及び損益の状況の推移**
- (5) 重要な子会社の状況**
- (6) 主要な事業内容**
- (7) 主要な営業所及び工場**
- (8) 従業員の状況**
- (9) 主要な借入先**

**お手許の招集ご通知22ページから26ページに  
記載の通りでございます**

**2. 会社の株式に関する事項**

**3. 会社役員に関する事項**

**4. 会計監査人の状況**

**5. 会社の体制及び方針に関する事項**

**お手許の招集ご通知27ページから35ページに  
記載の通りでございます**

連 結 貸 借 对 照 表  
連 結 損 益 計 算 書  
連 結 株 主 資 本 等 變 動 計 算 書  
貸 借 对 照 表  
損 益 計 算 書  
株 主 資 本 等 變 動 計 算 書

# 連結貸借対照表

平成29年3月31日現在

## 連結貸借対照表(資産の部)

科目	金額
流動資産	3,055億6千3百万円
固定資産	4,198億8千 万円
資産合計	7,254億4千3百万円

## 連結貸借対照表(負債の部)

科目	金額
流動負債	2,376億5千 万円
固定負債	2,894億3千3百万円
負債合計	5,270億8千3百万円



# 連結貸借対照表(純資産の部)

科目	金額
資本金	522億7千7百万円
資本剰余金	803億1千8百万円
利益剰余金	422億5千2百万円
自己株式	△2億4千1百万円
株主資本合計	1,746億 5百万円
その他の包括利益累計額	94億8千5百万円
非支配株主持分	142億7千 万円
<b>純資産合計</b>	<b>1,983億6千 万円</b>

お手許の招集ご通知36ページをご参照ください

# 連結損益計算書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

# 連結損益計算書

科目	金額
売上高	5,683億1千6百万円
営業利益	258億6千9百万円
経常利益	198億1千9百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	87億1千5百万円

お手許の招集ご通知37ページをご参照ください

# **連結株主資本等変動計算書**

**平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで**

# 連結株主資本等変動計算書

科目	金額
平成28年4月1日純資産残高	1,785億8千2百万円
新株の発行	145億5千3百万円
剰余金の配当	△25億6千6百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	87億1千5百万円
自己株式の取得	△2千8百万円
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8億9千7百万円
当期変動額合計	197億7千8百万円
平成29年3月31日純資産残高	1,983億6千 万円

お手許の招集ご通知38ページをご参照ください

# 連結注記表

**お手許の招集ご通知39ページから46ページに  
記載の通りでございます**

# 当社単独

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

個別注記表

お手許の招集ご通知47ページから53ページに  
記載の通りでございます

# 第4期 定時株主総会

UACJ